

伊賀市議会
だより

No.51
2017.11.1

やど
囃子
太鼓

都美恵太鼓



平成28年度決算

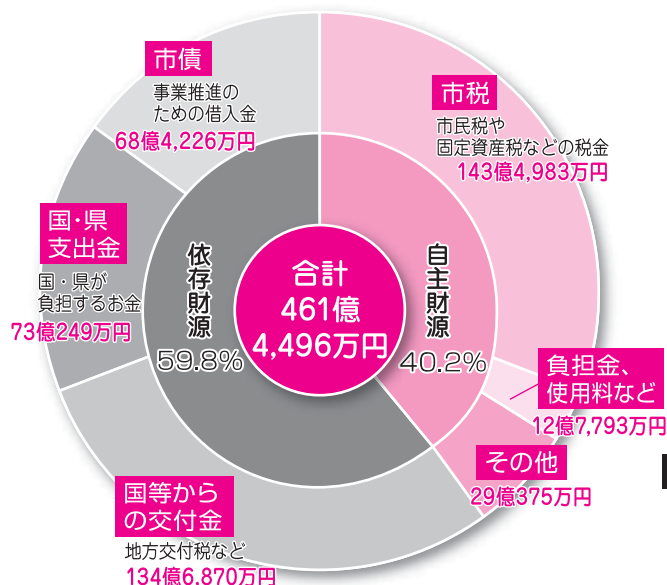


気になる

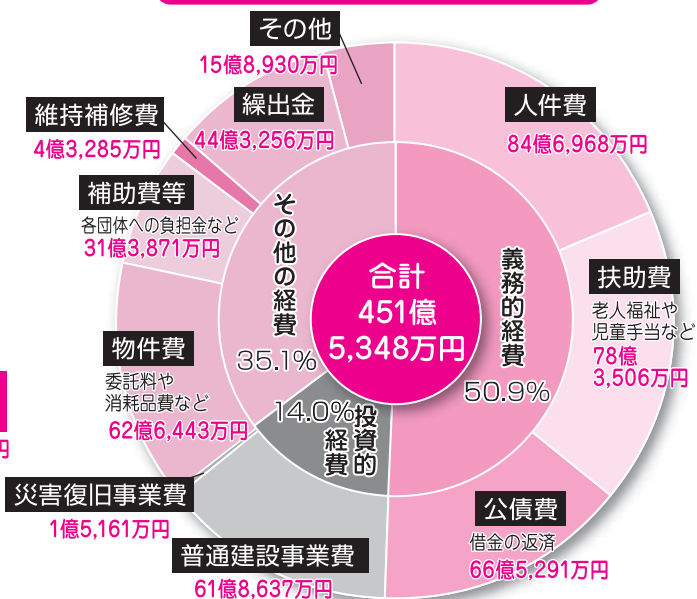
その使いみちは

一般会計歳入歳出差引残額 9億9,148万円
うち 実質収支 9億79万円（翌年度へ繰り越すべき財源 9,069万円）

一般会計歳入決算の内訳



一般会計歳出決算の内訳



質疑(委員会)

問 総務費の企画費で、5,087万525円もの不用額が出た理由は。

答 ふるさと納税を財源とする基金の積立額を見込み過ぎたことが主な原因です。

問 地区市民センターに、外国人の方に関する相談があると聞いた。多文化共生社会を実現するため、平成28年8月に多文化共生センターが開設されたが、同センターの役割は。

答 相談や情報提供が主な役割です。今後は多文化共生の理解を深めていただくために、講座の開催を計画しています。

問 予算を伴わない形で実施している職員提案制度による実績は。

答 自由提案の応募が12件ありました。実現化に向けてのブラッシュアップ後、職員提案審査会を経て4件が実施及び実施検討となりました。

問 シルバー人材センターの適正就業ガイドラインが改正され、平成28年4月から週40時間まで就業が可能となった。また、この要件緩和により民業圧迫が生じないしくみも設けられているが、現状は。

答 平成29年3月時点では、県内で就業時間を拡大したという実績はありません。伊賀市シルバー人材センターにおいては導入も含めて検討中です。

問 いがぶらの目的は、地域資源の観光商品化や観光客を受け入れる組織の育成ということだが、平成28年度の参加者の内訳を見ると、市内65.8%、県内20.0%、県外14.2%という結果だった。市内の方が多いが、この結果をどう受け止めているか。

答 いがぶらは、観光客の方に伊賀市の魅力を味わっていただくこと、更には、市民の方に地域の観光資源を再確認していただき、自ら市外へ発信していただくことも目的の一つとしています。



問 着地型観光というと、(※)インバウンドというイメージがある。今後の方向性は。

(※) インバウンド・・・外国人の訪日旅行。

答 現在いがぶらは国内向けですが、今後はインバウンド向けのいがぶらも作っていきたいと考えています。

一般会計 451億5,348万円の成果を認定

決算は議長、監査委員を除く全議員で構成する決算常任委員会に付託され、9月15日・19日の2日間にわたって審査し、28日の本会議で賛成多数で認定しました。

(万円未満四捨五入)

基金(預金)

●一般会計	残高 149億9,260万円
●特別会計	残高 24億6,213万円
●財産区	残高 2億9,074万円
<合計>	残高 177億4,547万円 (対前年度比 -5億3,747万円)

市債(借金)

●一般会計	残高 560億2,595万円
●特別会計	残高 3,670万円
●企業会計	残高 329億9,040万円
<合計>	残高 890億5,305万円 (対前年度比 -11億9,707万円)

(※)特別会計のうち、公共下水道事業・農業集落排水事業・浄化槽事業は平成29年度から企業会計に移行します。

平成28年度決算のあらまし

一般会計

歳入	461億4,496万円 (対前年度比 +12億7,577万円) 主な要因 市債の増	歳出	451億5,348万円 (対前年度比 +16億5,328万円) 主な要因 普通建設事業費の増
----	---	----	--

特別会計

	国民健康保険事業	住宅新築資金等貸付	駐車場事業
歳入	112億3,358万円	2,282万円	3,833万円
歳出	113億2,811万円	1億805万円	3,810万円
	介護保険事業	農業集落排水事業	公共下水道事業
歳入	104億4,339万円	13億8,137万円	9億4,230万円
歳出	99億1,418万円	13億1,516万円	8億1,190万円
	後期高齢者医療	その他(2会計)	財産区(2会計)
歳入	11億2,620万円	3,662万円	4,847万円
歳出	10億7,639万円	3,381万円	4,347万円

公営企業会計

		病院事業	水道事業
収益的収支	事業収益	43億6,365万円	36億1,023万円
	事業費用	45億963万円	31億7,384万円
資本的収支	収入	2億1,896万円	4億9,329万円
	支出	3億8,732万円	16億1,780万円

監査委員の審査意見要旨

おおむね適正な執行状況であると認められる。

一般会計では、新庁舎整備事業などに伴い歳出決算額が増加しているが、全体的には歳出の抑制が図られている。一般会計及び一部を除く特別会計は黒字決算であり、財政健全化判断比率においても国の定める基準を十分クリアしており、堅実な財政運営に努めていると認められる。

しかし、将来的な債務の負担を増加させることとなる市債の発行額抑制並びに基金取り崩し額の減少を実行しつつ、普通財産の土地建物売払収入の増加など歳入の確保に向けて今まで以上に取り組むことを望む。

なお、市税及び私債権については、法又は伊賀市債権管理条例に基づき、負担の公平性の確保と収納率の更なる向上に努めることを強く求める。

(監査委員 鈴木陽介・安本美栄子)

審議した議案と各議員の賛否(決算)

○印は賛成、×印は反対、欠は欠席。なお、空森議員は議長のため採決に入っていない。

件名		賛成 反対	議決 結果	川上 善幸	北森 徹	信田 利樹	西口 和成	福村 教親	宮崎 栄樹	桃井 弘子	山下 典子	市川 岳人	赤堀 久実	嶋岡 壮吉	田中 覚	福田 香織	森川 徹	生中 正嗣	上田 宗久	近森 正利	中谷 一彦	百上 真奈	北出 忠良	岩田 佐俊	安本 美栄子	中岡 久徳	
市長提出 議案	平成 28 年度伊賀市一般会計歳入歳出決算の認定	21:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠
	平成 28 年度伊賀市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	21:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠
	平成 28 年度伊賀市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	21:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠
	平成 28 年度伊賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	21:1	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠
全員賛成で認定した議案 (中岡議員は欠席のため採決に入っていません。)																											
市長提出 議案	・平成 28 年度伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度伊賀市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度伊賀市サービスエリア特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度伊賀市大山田財産区特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度伊賀市水道事業会計決算の認定													・平成 28 年度伊賀市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度伊賀市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度伊賀市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度伊賀市島ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算の認定 ・平成 28 年度伊賀市病院事業会計決算の認定													

■ 芭蕉翁記念館条例の制定

芭蕉翁記念館は、現在指定管理による運営を行っていますが、平成30年度からの管理運営を市の直営とするための改正です。

閉会中の
継続審査と
なりました

質 疑（委員会）

問 行政と芭蕉翁顕彰会は議論を重ねてきたと思うが、それぞれの役割は。

答 行政は、芭蕉翁生誕地のシティプロモーション、貴重な財産の継承、学芸員を中心とした俳句の研究など、芭蕉翁を活かした地域づくり。顕彰会は、芭蕉翁の顕彰、俳句の普及啓発、各俳句団体等とのつながりなどを担います。

討 論（委員会）

継続 直営には賛成であるが、直営後が不透明、また二つの組織の方向性が見えない。

賛成 顕彰会の持ち味を活かしながら盛り上げられることを期待する。

■ 伊賀市の適正な土地利用に関する条例の制定

適正な土地利用のため、統一した制度へ

建築開発事業実施の流れ

全員賛成で
可 決

<市>

○計画策定

- ・伊賀市土地利用基本計画を定める
- ・拠点土地利用計画を定めることができる

○伊賀市土地利用審議会を設置

市長の諮問に応じて、調査審議する

<住民自治協議会>

- ・地区土地利用計画を定め、市長に認定を申請することができる
- ・拠点土地利用計画案の作成を市長に提案することができる

○罰則

6ヶ月以下の懲役又は50万円以下の罰金等

建築開発事業の承認

<建築開発事業者>

- ・建築開発事業に着手する前に、当該建築開発事業について市長に申請
- ・当該建築開発事業の予定区域内の見やすい場所に、事業に係る事項を記載した標識を設置
- ・市は、基本計画に整合していると認めるときは、適合承認し、「適合通知証」を交付

建築開発事業の完了検査

<建築開発事業者>

- ・建築開発事業着手、完了の届出
- ・市は検査を行い、適合承認内容と整合しているときは、「検査済証」を交付

（※）特定開発事業の認定

（※）特定開発事業：基本計画の建築開発事業の基準に定めのない事業

<建築開発事業者>

- ・建築開発事業者は、市と事業相談の後、特定開発事業案を提出
- ・説明会を開催
- ・建築開発事業認定申請
- ・市は、伊賀市土地利用審査会に意見を聴いた後、「特定事業認定証」及び「適合通知証」を交付

質 疑（委員会）

問 土地利用の全てが土地利用審議会で審議されるのか。

答 特定開発事業並びに建築開発事業の案に関する意見書が提出されたときは、土地利用審議会で審議され、最終的に市長が決定します。

問 土地利用審議会の構成は。

答 5名程度とし、土地利用、法律、行政、環境などに精通した有識者を想定しています。

問 立て札を設置する前に地域に説明するべきではないか。

答 開発や宅地造成に関する手続きは現行どおりであるため、事前に地域に説明等が必要となります。

討 論（本会議）

賛成

建築開発事業において、有害なものが不適切に処分されないようこの条例でしっかり運用していただきたい。

■ 上野ふれあいプラザの設置及び管理に関する条例の一部改正

上野ふれあいプラザ

指定期間：平成30年4月1日から

平成31年3月31日まで

指定管理期間を「3年間」から「1年間」に改正を行うものです。



全員賛成で
可 決

■ 工事請負契約の締結

（仮称）長田・新居小学校建設工事（建築主体工事）の工事請負契約を締結

【契約金額】 7億4,736万円

【契約の相手方】 山一・アイビーエー特定建設工事共同企業体

全員賛成で
可 決

■ 平成29年度一般会計補正予算 空家等対策推進事業

賛成多数で
可決

質 疑 (委員会)

問 昨年度「伊賀市空家等対策計画」に基づく空家調査の結果、特定空家（危険空家）を102棟、特定空家を除く2,221棟の空家を認定しているが、再度調査を行うのか。

答 国の補助金事業を活用し、実施します。



問 事業の内容について教えてください。

答 特定空家（危険空家）については、専門家に委託します。梁の状態等の詳細な調査、早急に対応が必要な特定空家の数及び相続人について調べていただき、適切な対応を行います。
また、特定空家を除く空家についても、専門家に委託します。老朽化等の調査や所有者の意向調査結果を踏まえながら、空家の活用を促進していきます。

忍びの里伊賀甲賀忍者協議会(負担金)

質 疑 (委員会)

問 伊賀甲賀観光連絡協議会を解散して、忍びの里伊賀甲賀忍者協議会を設立しました。メンバーなどの変更はあったのか。また、事業の方向性は。

答 これまでの観光部署職員による構成に加えて、観光協会や文化財担当部署の職員が入ります。この協議会では、市民の方にも忍者についてしっかり認識していただき、市外の方へ発信することを目指し、ガイドの養成を計画しています。



外国人観光客誘客事業

質 疑 (委員会)

問 外国人観光客誘客事業の内容は。

答 3つあります。
①関西圏の外国人観光客誘客プロモーション
②京都嵐山の京福電鉄嵐山駅構内でのプロモーション
③香港ウォーカーへの掲載

問 なぜ「香港」なのか。

答 香港から日本への旅行者は、年間183万人で、うち60%がリピーターです。また、10回以上訪日しているという方が20%弱います。
このことから、日本国内の観光情報が紹介されている香港ウォーカーへ掲載したいと考えます。

討 論 (本会議)

反対 小学校給食センター整備運営事業経費[債務負担行為] (46億1,501万9,000円) について、(※1)PFI事業による学校給食の民間業者への委託は、給食の質の低下を招き、非正規労働者の拡大など地域経済の好循環が期待できない。

(※1) PFI事業・・・民間が事業主体としてその資金やノウハウを活用して、公共事業を行う方式

賛成 小学校給食センターのPFI事業について、7月に公表された(※2)要求水準書には、モニタリング、セルフモニタリングの実施についての記載があった。これは、公共サービスのアウトソーシングを民間に丸投げしないための重要な取り組みである。

(※2) 要求水準書・・・PFI事業者に要求する必要最小限の業務の範囲、実施条件、水準

請 願

全員賛成で
採 択

- [件名]
- 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求めること
 - 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること
 - 子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援にかかわる制度の拡充を求めること
 - 防災対策の充実を求めること

請 願 者 伊賀市PTA連合会 会長 細川周作 外2名
紹介議員 北森徹、宮崎栄樹、上田宗久、中岡久徳

衆・参議院議長等へ意見書を提出しました。



意見書

森林環境税(仮称)の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書の提出

賛成多数で
可決

要旨(抄)

市町村が持続的に森林整備を行うことができるよう森林環境税(仮称)を早急に創設することなどを強く要望する。

- 森林環境税(仮称)の創設に当たっては、地方の意見を十分に踏まえて制度設計するとともに、各県を中心に独自に課税している森林環境税等との関係についても確実に調整を図ること。
 - 林業の成長産業化と森林の公益的機能の発揮の両立を図る新たな森林の管理・経営スキームを検討すること。
- など4項目

提出先

内閣総理大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣

討 論(本会議)

- 反対** 国は、平成29年度税制改正において、地方自治体からの反発により、森林環境税の導入を先送りにした。森林整備と林業対策は、国内産業の根幹に位置付け、国の責任において、税創設ではなく根本的な対策を行うべき。

受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書の提出

賛成多数で
可決

要旨(抄)

国民の健康を最優先に考え、受動喫煙防止対策の取り組みを進めるための罰則付き規制を図る健康増進法の早急な改正を強く求める。

- 対策を講じるに当たっては、準備と実施までの周知期間を設けること。
 - 屋内の職場・公共の場を全面禁煙とするよう求める「WHO たばこ規制枠組条約第8条の実施のためのガイドライン」を十分考慮すること。
- など4項目

提出先 衆議院議長、参議院議長、厚生労働大臣

討 論(本会議)

- 反対** 喫煙専用室の設置が困難な小規模飲食店に配慮することなどの例外を認めず完全禁煙にするべき。

- 賛成** たばこを吸う方の権利もあるので、慎重に議論してほしい。

道路整備に係る補助率等の^{かさ}高上げ措置の継続を求める意見書の提出

全員賛成で
可決

道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も継続するよう強く要望する。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣



審議した議案等と各議員の賛否

○印は賛成、×印は反対、欠は欠席。なお、空森議員は議長のため採決に入っていません。

件名		賛成 反対	議決結果	川上 善幸	北森 徹	信田 利樹	西口 和成	福村 教親	宮崎 栄樹	桃井 弘子	山下 典子	市川 岳人	赤堀 久実	嶋岡 壮吉	田中 覚	福田 香織	森川 徹	生中 正嗣	上田 宗久	近森 正利	中谷 一彦	百上 真奈	北出 忠良	岩田 佐俊	安本 美栄子	中岡 久徳	
市長提出議案	平成29年度伊賀市一般会計補正予算（第2号）	21:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	
	芭蕉翁記念館条例の制定	14:8	継続審査	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	欠	
議員提出議案	森林環境税（仮称）の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書の提出	20:2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	
	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書の提出	21:1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	
全員賛成で可決（同意を含む）した議案（中岡議員は欠席のため採決に入っていません。）																											
請願	●義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求めること ●子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援にかかわる制度の拡充を求めること ●教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めること ●防災対策の充実を求めること																										
市長提出議案	●平成29年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） ●平成29年度伊賀市水道事業会計補正予算（第2号） ●伊賀市指定管理者選定委員会条例の一部改正 ●上野ふれあいプラザの設置及び管理に関する条例の一部改正 ●伊賀市地域公共交通会議条例の廃止 ●工事請負契約の締結【（仮称）長田・新居小学校建設工事（建築主体工事）】 ●平成29年度伊賀市病院事業会計補正予算（第1号） ●伊賀市の適正な土地利用に関する条例の制定 ●伊賀市職員の育児休業等に関する条例の一部改正 ●伊賀市農業公園の設置及び管理に関する条例の一部改正 ●財産の無償譲渡（旧伊賀市大沢小規模集会所施設） ●人権擁護委員候補者の推薦（森下政實氏、大川照郎氏、米田美紀子氏、福本康代氏）																										
議員提出議案	●道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出 ●教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出 ●子どもをめぐる貧困対策の推進と就学・修学支援にかかわる制度の拡充を求める意見書の提出 ●義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書の提出 ●防災対策の充実を求める意見書の提出																										

一般質問

ここが聞きたい

市政を問う

一般質問は、9月11日、12日、13日、14日の4日間で、19人の議員が市の諸問題について質問をしました。その主なものを掲載しています。

このQRコードで、録画映像をご覧ください。



福村 教親 議員

質問項目

- 救急ワークステーションの設置
- 肺疾患患者への補助
- 教職員の働き方と児童・生徒の現状



問 救急救命士の教育の拠点と言われる「救急ワークステーション」の設置とドクターカーの配備は

答 市内2つの救急病院、救急担当医師と協議し、設置について検討します

現在、39人の救急救命士が定期的に医師、看護師から研修や講習を受け、知識及び技術を習得し、救命率の向上に努めています。

また、必要があれば医師が救急車に同乗して処置にあたるなど、救急活動体制を強化することにより、レベルの高い救急サー

ビスを提供できるよう努めています。

問 日常生活において携帯用酸素ボンベを必要とする呼吸器疾患患者へのパルスオキシメーター（動脈血中酸素飽和度測定器）購入のための補助金制度は

答 伊賀市重度障がい児（者）等日常生活用具給付事業により給付をしています

対象者は、重度身体障がい者かつ医師により必要と認められる方、または、難病患者で人工呼吸器の装着が必要な方です。

市川 岳人 議員

質問項目

- 土砂災害対策
- 健康寿命延伸強化
- 子育て・教育



問 森林整備を含めた土砂災害対策の方針は

伊賀市は森林面積が広い上に、山林の管理が不十分であり、ナラ枯れ被害も徐々に拡大しています。「九州北部豪雨」では倒木によりせき止められた河川が山間部で氾濫したため、被害が拡大しました。伊賀市においても対策が急務であると考えます。

答 国・県と連携し取り組みます

森とみどりの県民税等の財源を活用し、山林の間伐・整備を行います。また国、県へ一層の要望活動を行い、砂防ダムを含め河川の（※）浚渫等の防災インフラ整備を進めます。

問 ハタラキカタ応援宣言のその後は

仕事と家庭を両立させる職場環境の整備が少子化対策や女性の社会進出に繋がります。平成28年の宣言から一年が経過しましたが、具体的な取り組みや成果についてお伺いします。

答 一定の成果があり、取り組みを続けます

育児・介護休暇取得者が少しずつ増加しています。平成29年度は長時間勤務の是正に努めており、現時点で時間外の勤務時間は前年比15%減の改善となっています。

（※）浚渫：河川などの底面をさらって、土砂などを取り去る土木工事。

岩田 佐俊 議員

質問項目

- 懸案事項
- 高齢者対策
- 教育行政
- 伊賀市の無料相談



問 住民が利用しやすい行政バスの運行を

しらせ号や行政バス等は、空気を運んでいると言われるほど利用者が少ないが、今後の対応、対策についてどのようにお考えですか。

答 地域と連携し、運行改善策を早期に進めます

利用者増加のための方策については、現在法定協議会に諮り、2つの対応策を進めています。

1点目は、来年度実施を目標に、既存バス路線の再編を検討しています。これまで

実施したバス乗車者への調査結果や利用者の実態ニーズに応じた見直しにより、持続可能な公共交通ネットワークの構築に努めます。

2点目は、今年度内を目途に、現在のバス路線を補完する新たな乗合型の移動手段として、地域が主体となって計画・運営する地域運行バス導入のためのガイドラインの策定を進めています。これにより地域における様々な移動ニーズにも対応でき、地域に相応しい移動手段の確保ができます。

一般質問

田中 覚 議員

質問項目

●働き方改革



問 公務員の意識の変革は

次に掲げる5つの項目のその後に着目し、それぞれの視点から職員の働き方を問います。

- ①忍者の日本遺産登録：登録まで3年間を要したが、登録後の計画が見えない。
- ②伊賀線の公有民営化：民営化と同時に地域バスとの連携を検討するべきではなかったか。
- ③上野市街地等の下水道計画：計画が始まろうとしているが下水道整備の行く先が見えない。
- ④線引きの廃止：自主条例の新たな規制により、大混乱が想定されるが、相談体制

等の人的配置がされていない。

- ⑤全国学力テストの結果の一部公表：学校別の順位等が公表されず、教師や児童生徒の努力の成果を知ることが出来ない。

主要政策や施策について、「こんなことをやりたい」というような職員の意識の構築がなかったのではないかと。

答 率先垂範します^(※) (市長答弁)

時間の浪費をなくし、実のある勤務をさせます。

(※) 率先垂範：人の先頭立って物事を行い、模範を示すこと。

山下 典子 議員

質問項目

- 子ども・子育て環境の充実
- スポーツによるまちづくり
- 伊賀市消防団のあり方
- JR柘植駅の整備



問 子ども医療費窓口無料化の早期実現を

三重県の子ども医療費助成制度では、医療機関の窓口で一旦医療費を支払い、2ヶ月後に口座振込される償還払い方式となっており、子育て中の世帯にとって窓口での支払いが負担となっています。これを解消する市独自の取り組みはいつ実現されますか。

答 来年4月から導入します

未就学児の窓口での医療費の支払いが、来年4月から不要になります。

問 JR柘植駅の整備を

JR草津線各駅の整備が進む中で、草津線との乗り換え駅である柘植駅のバリアフリー化の予定はありますか。

答 駅利用者の増加が必要です

平成30年の春には、交通系ICカードが柘植駅で利用出来るようになる等、利便性向上が図られる予定です。市民の協力を得ながら実現に向けて粘り強く取り組みます。



近森 正利 議員

質問項目

- 障がいのある子どもたちの支援
- 子どもの貧困対策
- 防災備蓄ローリングストック法



問 障がいのある子どもに切れ目のない支援を

発達障害者支援法の改正により、早期発見や乳幼児期からの切れ目のない福祉的援助に道が開かれましたが、取り組みをお伺いします。

答 充実していきます

切れ目のない支援をするため、保育所(園)、幼稚園への訪問を実施し、就学前に幼児の情報を入手しています。今後も、こども未来課、こども発達支援センター等の福祉部局と関係機関の連携を強化して支援を行います。

問 スクールソーシャルワーカーの活用を

心のケアを担うスクールカウンセラーとともに、子どもの家庭環境の問題に対処するスクールソーシャルワーカーの役割が大変重要になっていますが、取り組みをお伺いします。

答 積極的に活用します

現在2名を配置し、随時、家庭訪問を行っています。こども未来課等の関係機関とのパイプ役や支援内容の決定、進捗管理に関わっています。今後も積極的に活用し家庭や学校の支援を行っていきます。

一般質問

福田 香織 議員

質問項目

- 台風5号の対応



問 市の危機意識を問う（台風5号の対応）

8月7日の台風5号の際、水位が140ミリを超過した8月8日午前4時の時点では避難指示が出されませんでした。災害対策本部は機能していましたか。その時の状況をお伺いします。

◆国が指定している「地すべり防止区域」では、市との話し合いの中で雨量計の累積値が90ミリ以上で立退きのための注意喚起、140ミリ以上で避難指示を出す仕組みになっています。

答 配備体制を縮小しました

西条の観測所の水位計が140ミリまであと数ミリでしたが、河川の水位が下がり、

暴風警報が解除され、その後の降雨量予測が微小であったため、8月8日午前1時45分に警戒体制を縮小しました。

問 避難所のあり方を問う

地区からの依頼により、市は避難所を開設したが、要請するまで職員は配置されず、物資も届かなかったと聞きました。このような状況について、どのようにお考えですか。

答 避難所開設の時期が、台風接近の直前になってしまったことについて反省し、地元の声などを集約して検証していきます

赤堀 久実 議員

質問項目

- 防災対策
- 乳ガン検診の現状と今後
- 小中学校のICT活用



問 地域と企業、事業所や各種団体との防災協定の締結は

災害に備えて、地域と防災協定を結んでおくことが、地域の方々の安心安全に繋がるのではないかと考えます。例えば、重機の貸し出しなど、専門性を活かすことや、一時避難者への施設の提供が考えられます。

答 住民と企業の間に入って取り組みます

企業の特性を考えながら、何をしていただけののか精査します。

問 乳がん検診に超音波検診の導入を

デンスプレスト（高濃度乳腺）の方は、マンモグラフィでは乳腺が密集しているため、画像が真っ白に映り、がんが発見されにくいと言われています。また、妊娠中や授乳中の方は、マンモグラフィは受診出来ません。特に若い方はがんになると進行が早く、早期発見のためにも超音波検診を導入してはいかがでしょうか。

答 実施に向けて検討します

生中 正嗣 議員

質問項目

- 南庁舎の利活用
- 教育行政



問 「再議」を提出した市長のお考えは

6月定例会における、南庁舎活用予算に関する修正案（予算減額）可決に対し、伊賀市政では前例がなく、全国的にも数少ない市長の拒否権とも言うべき「再議」を出されたことについてのお考えは。

答 地方自治法に基づくものです

自治大阪（冊子）に掲載された内容を紹介します。「再議」の主旨は、市長と議会の間で意見が対立し、権限を超えて行われる場合、両者の調整を図る仕組みとしてこの制度があります。

問 南庁舎を改修した場合、追加工事が生じた時の責任、保障は

答 そのような事が無い様にしっかりと計画を立てます

問 福祉の拠点としての利活用は

南庁舎を福祉の総合的な拠点として、「総合福祉センター」と「行政サービスセンター」を併設し、さらに災害時の避難場所に利用するというのはいかがでしょうか。

答 案として承ります

議会から様々な提案がありました。将来像を見据えながらしっかりと検討します。

一般質問

桃井 弘子 議員

質問項目

- 伊賀市の水道事業



問 一般家庭に供給する水道水と工場で使用する水道水を分けて供給することは可能ですか

分けて供給することが出来なければ、使用する程1㎡あたりの単価が高くなる料金体系について何か対策はありますか。

答 伊賀市では工場用水を別供給する予定はありません

問 工場用水の軽減措置を一刻も早く実施すべきではありませんか

企業は、工場進出を検討する際、軽減措置の有無等を比較して、軽減措置のない

伊賀市への進出を躊躇することになります。伊賀市の経済活性化や新規雇用創出の為に工場用水の軽減措置を一刻も早く実施すべきです。

答 工場用水の料金体系の有り方を本年度検討します

水道事業の安定した経営と、企業にとって使い易い水道料金の研究を重ねたいと考えています。



西口 和成 議員

質問項目

- インフラ整備
- 観光
- 若者の定住に向けた取り組み



問 上野天神祭ダンジリ行事において、担い手である子どもたちが参加するための環境整備はできていますか。

答 ダンジリ行事が行われる第3土曜日を休日しました。

問 伊賀市の観光パンフレットの刷新と、国史跡の国分寺及び国分尼寺の維持管理はどのようになっていますか。

答 市勢要覧を刷新し、観光ガイドブックの要素も盛り込みます。国分寺の維持管理は、予算内で行います。

国分尼寺は、現在民有地のため所有者及び地域の方と相談しながら、維持管理に努めていきます。

問 愛知県新城市の取り組みについてどうお考えですか。
(若者議会を条例化し、予算付けしています)

答 特に若者の定住にむけての様々な課題解決のために、若い人の意見を聞く場所を提供することは重要であり、参考になります。今後、内容を研究・精査し検討していきます。

信田 利樹 議員

質問項目

- 防災
- 小中学校の教育環境



問 地域の実情に即した避難所運営マニュアルを

災害時に開設される指定避難所113箇所のうち、地域の状況に合わせた個別の「運営マニュアル」を策定している避難所は2箇所しかありません。全市共通のものではなく、避難所の規模や設備、介護が必要な高齢者等の人数など地域に応じたマニュアルが必要です。市の職員がしっかりと地域に説明し、必要性を理解して頂き、住民の方と一緒にマニュアルを策定することはできませんか。

また、避難所へ行くために橋を渡らなければならない、川よりも低い場所にあるなど避難することに不安を感じる声を聞いています。地域住民の方と話し合い、見直し等を進める必要がありませんか。

答 運営マニュアルの策定を行います

出前講座等で地域の方に理解して頂き、マニュアルの策定を行うとともに、地域の方としっかり話し合い、避難場所の見直しも行います。

一般質問

北森 徹 議員

質問項目

- 伊賀市版ネウボラ・子育て支援
- 発達の遅れや障がいによって支援を要する児童への対応と環境整備



問 伊賀市版ネウボラ・子育て支援のため、縦割行政の解消を。

答 各部署が連携して、縦割行政から横の繋がりのある行政サービスを心がけています。

問 子育てする全ての対象者に対し、ワンストップ窓口での対応を。

答 ハイトピア伊賀4階にある子育て包括支援センター等で各専門家が対応し、切れ目のない子育て支援を目指しています。

問 発達支援検査者の増員を。

答 検査資格を持った専門家が少ないのが現状です。

問 要経過観察となった児童に十分な支援を。

答 各分野の専門家と教育に関わる全ての職員が連携して対応しています。

問 特別支援学級の市費負担教育支援員の増員を。

答 様々な事情がありますが、一人ひとりのニーズに応じた支援のためには増員が望ましいと考えます。

宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 有機農業の推進
- ごみ行政のあり方
- 川上ダム事業に伴う諸問題



問 学校給食に伊賀産有機農産物の活用を

学校給食に有機農産物を活用することは、これから成長していく子どもたちのため、また、有機農家が農業を続けていくためにも、効果的な取り組みであると考えます。

答 予算的に厳しく、安定供給への不安もあるため、活用は困難です

問 新規就農定住支援策の充実を

新規就農をするためには、「住居」、「農地」、「農機具」など多くの不安が生じます。使用されなくなった農機具を有効活

用する「農機具バンク制度」を新設し、「空き家バンク制度」と連携して、新規就農者の受け入れ態勢を強化すべきでは。

答 今後の政策に結び付けられるよう検討します

問 民間委託業務の品質確保を

民間委託をしているごみ収集業務の契約違反で顕在化した、業務の丸投げ状態を是正すべく、第三者も入れたチェックシステムの導入が必要です。

答 品質確保のためシステムを作っていきます

川上 善幸 議員

質問項目

- 介護職員の養成
- 交通施策



問 介護職員の養成を

答 生活援助サービスを行う人材を掘り起こしていきます

介護職員初任者研修の啓発を行うとともに、総合事業の訪問型サービス従事者研修を本年度中に実施する予定です。また、国では、人手不足解消のために、未経験の方に基本的な介護の方法を教える介護職入門研修（県が実施）が計画されています。

問 地域運行バス・行政バス・タクシー等乗車券などの交通施策の充実を

答 地域運行バスに力を入れながら、他の取り組みについても資料収集に努めます

地域運行バスのガイドラインを年内に作成し、各支所単位等で説明会を行います。さらに関心をもっていただいた地域には、詳細説明を行い、早期にモデル運行を行います。

また、阿山地域における行政バスの榎山グリーンタウンへの乗り入れ等については、平成30年4月のダイヤ改正に向けて、阿山支所管内全ての住民自治協議会と協議を行います。

さらに、タクシー等乗車券は、県内で最も低額ですが、障がいのある方に広く助成を行っています。年額7,200円の増額は現在考えていません。

一般質問

百上 真奈 議員

質問項目

- 子ども医療費に係る諸課題
- 就学援助の新入学児童生徒学用品費の増額および入学前支給
- 自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和
- 三重県から伊賀市へ伊賀水道用水供給事業が譲渡された経緯



問 子どもの医療費助成の所得制限の廃止を

未就学児の医療費窓口無料化は本年10月より実施予定でしたが、なぜ来年の4月に延びたのですか。また、県に準じている所得制限を無くしてください。

答 未就学児まで所得制限を廃止します

未就学児の医療費窓口無料化は、システム改修費の削減や国保連合会等との調整に時間を要したため、来年の4月からの実施となりました。なお、所得制限は未就学児まで廃止します。

問 就学援助の入学準備金増額と小学校入学児の入学前支給を

県内14市のうち13市が、子どもの貧困対策である就学援助の入学準備金を前年度比に対して「倍増する」、または「倍増する予定」としています。全ての子どもに等しく教育を保障するため、他市同様に増額してください。

答 増額は予算面が課題、入学前支給は実施する方向で調整します

増額するには、さらに400万円余りの財源が必要です。事業を精査する必要があるため、現段階での増額は難しい状況です。

上田 宗久 議員

質問項目

- 平成30年度からの農業政策
- 伊賀市の教育環境
- 南庁舎



問 5年連続特A評価の伊賀米コシヒカリの評価がランク落ちしています。特A奪還策についてお聞かせください

答 「伊賀米」定義の見直しを検討します

伊賀米ブランド力アップと生産者の所得向上につなげるため、「伊賀米」定義の見直しを検討します。具体的には、技術実証圃を管内10箇所に設置し、食味安定生産技術の検討、食味官能試験、食味コンテストを実施する予定です。

問 学校別生徒数の将来推計と対策は

若者の流出によって、小中学校の生徒数が減少することが推測されます。特に統合後3年が経過する成和西、成和東小学校の推計数と現在複式学級がある学校について、将来への対策も含めて基本的な考え方を示してください。

答 地域の声を大切に考えていきます

10年後の推計では、成和西小学校は57人、成和東小学校は59人です。複式学級がある学校推計は、玉滝小学校16人、神戸小学校78人です。

また、将来の対策については、文部科学省からの学校適正規模の手引きを参考に、地域の声を十分に聞いた上で、複式解消に向けて検討していきます。

森川 徹 議員

質問項目

- これからのごみ処理
- 猛毒を持つ生物の対応



問 これからのごみ処理

RDF事業について、他団体との協議も踏まえ、平成31年9月を軸に早期撤退を考えているということですが、今後民間による処理となった場合、維持管理費はどの程度削減できますか。また、市民への周知はどのタイミングで行いますか。

さらに、伊賀南部環境衛生組合の今後の見通しについてもお伺いします。

答 処理経費は年間約3億5,000万円から4億円削減されます

RDF事業には多額の経費が掛かっていることから年間約3億5,000万円から4億円程度(33.5%)の削減になると試算しています。市民の方への周知は、年度内を目途に行いたいと考えています。

また、伊賀南部環境衛生組合については、今後も名張市との協議を続けていく必要がありますが、平成36年以降の南部クリーンセンターでのごみ処理の継続は伊賀市としては考えていません。

一般質問

中谷 一彦 議員

質問項目

- 生活排水処理施設整備計画(桐ヶ丘処理区)
- 伊賀鉄道と伊賀神戸駅前安全推進事業
- 伊賀市の就労支援の取り組み



問 桐ヶ丘生活排水処理施設整備計画(污水处理施設)の地元住民への説明は

平成28年5月に污水处理施設整備計画を発表し、平成35年度から現在の処理施設を使わない特定環境保全公共下水道に切り替えるところがあるが、どのように地元住民に説明していくのか。

答 今年度後半に地元役員をはじめ住民の方々に事業の流れを説明します

市長答弁 地元住民の方は不安を抱いていると思いますので、まず状況と住民の皆様の意向を把握し、市の考え方も説明しながら方向性を相談させていただくことが大切だと思っています。

部長答弁 平成35年度からの供用開始に向けての地元調整等は現在手付かずの状態です。今後、公共下水の制度、排水設備使用料や受益者負担金の考え方等の様々な課題について協議させていただき、事業に対する共通理解を得たいと考えています。

1月

議会報告会

みなさまのご参加をお待ちしています



(平成29年10月19日現在)

開催日	時 間	地域名	場 所	議員名(◎班長)	班
1月15日(月)	15:00	河合	阿山保健福祉センター	◎生中、信田、市川、空森	3
1月17日(水)	19:30	友生	友生地区市民センター	◎北出、北森、山下、森川	2
1月19日(金)	18:00	小田	小田地区市民センター	◎赤堀、西口、上田、岩田	4
1月23日(火)	19:30	花垣	花垣地区市民センター	◎生中、信田、市川、空森	3
1月25日(木)	14:00	上野東部	上野東部地区市民センター	◎百上、川上、福田、福田	1
1月27日(土)	10:00	上野南部	上野南部地区市民センター	◎北出、北森、山下、森川	2
1月27日(土)	19:30	神戸	神戸地区市民センター	◎中谷、宮崎、田中、中岡	6
1月28日(日)	19:30	博要	博要地区市民センター	◎中谷、宮崎、田中、中岡	6
1月29日(月)	19:00	島ヶ原	島ヶ原会館	◎北出、北森、山下、森川	2

※出席議員が変更する場合がありますので、ご了承ください。

? 会派ってなに?

政策を中心とした同一理念を共有する2人以上の議員で構成し、活動するグループとして会派が存在します。会派の結成および構成員の変更(加入)は、毎年4月に行うことができます。すべての議員が会派に属しているわけではありません。

◆は会派名(五十音順)、◎は代表者、▷は結成の目的 (平成29年10月19日現在)

※議長は会派に属さないことになっているため、()で表示しています。

◆**かがやき** ◎安本美栄子、桃井弘子、嶋岡壮吉
▷市民目線での政策提言、議会改革

◆**自民青鵬** ◎市川岳人、西口和成、福田教親
▷市の諸問題に対する政策提言。持続可能な地域社会の実現

◆**草の根運動いが市議会議員団**
◎宮崎栄樹、山下典子
▷市民目線での政策提言

◆**自民爽風クラブ**
◎北出忠良、北森徹、信田利樹、森川徹、岩田佐俊
▷議会改革、救急医療の堅持及び地域福祉の推進

◆**公明党** ◎中谷一彦、赤堀久実、近森正利
▷政策実現

◆**新政クラブ** ◎生中正嗣、福田香織
▷政策に対する理念の共有

◆**自民伊賀** ◎中岡久徳、川上善幸、上田宗久、(空森栄幸)
▷地域産業の活性化と観光の推進

◆**会派に所属していない議員**
田中覚、百上真奈、空森栄幸(議長)



出前講座

総務常任委員会 8/25

地域の力を結集し、さるびの温泉存続を

テーマ：さるびの温泉の今後について



8月25日「一般社団法人大山田温泉福祉公社」からの依頼で、「伊賀の国大山田温泉さるびの」において、総務常任委員会の出前講座を開催しました。

現地で施設を視察した後、公社の会長から温泉の現状と今後の運営方針について説明がありました。

その中で「平成28年度から3年間、同公社が指定管理者となり経営改善に取り組み、収支状況は改善されつつある」と報告がありました。

その後の意見交換では、同公社から「公営温泉さるびのを地域振興の核としていきたい」、「施設の老朽化が進んでおり、特にボイラー、空調設備等の不具合が顕在化しているが大規模修繕のための財源が不足している」と支援を求める意見が出されました。

議員からは、「経営改善のため、現在の事業計画を再度見直し、計画の建て直しを図るべき」、「どういったところとタイアップして、どのようにアピールしていくのか企画力が必要」、「民泊、シェアハウスなど宿泊施設としての利用の検討」、「キャンピングカー利用者の誘引」、「地域おこし協力隊との連携により若者に向けての情報発信が重要である」という意見がありました。

教育民生常任委員会 8/24

利用者目線の図書館を

テーマ：南庁舎利活用案（特に図書館部分）について

8月24日「明日の伊賀市図書館を考える会」からの依頼で、上野図書館視聴覚室において、教育民生常任委員会の出前講座を開催しました。

はじめに、常任委員長から「南庁舎については利活用するのか、図書館を入れるのかなど、その機能等については、全く決まっていない」と現状報告がありました。

考える会から「みんなに喜んでもらえるような使い勝手のよい図書館を作してほしい。そのためにも、設計の段階から図書館を設計した経験のある方に入っていただくことや、司書や図書館流通センターなど専門家の意見を取り入れていただきたい」という意見が出されました。

議員からは、「市民からこんな図書館を作してほしいと声を上げることも必要」、「南庁舎に入れる機能やレイアウトについては市長よりゼロベースで検討していくという発言があった。市民を巻き込みながら、市民が望む図書館をどう作っていくのかをさらに考えていきたい」という意見がありました。



所管事務調査(行政視察)

広報委員会 7/27 議会広報セミナー

情報を市民目線で選択、整理して発信します

議会広報の現状と課題、先進事例や議会の活性化に繋がる住民参加型の紙面作りについて学ぶため、7月27日に東京で開催された議会広報セミナーに参加しました。

複数の市議会の市民アンケート調査によると、どの議会においても議会広報を見る機会が少ないという結果でしたが、特集や身近な人が登場する記事に関心があることや、60～70歳代の方のインターネット利用率が増加していることが分かりました。研修では、このような分析を基にいろいろな方策が提案されましたが、特に取り入れたいと思った点が2つあります。

1点目は、6月定例会からインターネットによる録画映像配信を始めましたので、議会だよりの一般質問のページにこの動画を見るためのQRコードを掲載

したいと思います。

2点目は、読者ニーズを把握するための

アンケート調査を実施するなど、子育て世代や若い方ははじめ様々な年代の方の声を聞かせていただく方法を検討したいと思います。

議会だよりは議会での決定事項及び途中経過をお伝えすることが重要ですが、皆さんに読んでいただける紙面となるには、活発な議論や充実した議会活動に取り組むことが必要です。今後も、幅広い世代の皆様、気軽に手に取っていただけるような紙面作りに取り組みます。



いがまちの歴史を感じるスポットをご紹介します



萬壽寺（まんじゅじ）

柘植



観音堂



芭蕉翁生誕 360 年記念モニュメント



柘植の里芭蕉翁を顕彰する会
会長 藤井 克幸さん

宝暦10（1760）年、「長福寺」から「萬壽寺」と改称。

（※）伽藍は昭和7（1932）年3月25日の火災でわずかに観音堂を残し（屋根の部分は焼失）、全焼しました。その後修理された観音堂は、旧伊賀町内で現存最古の建造物となっています。

また、古い観音堂の横に真新しい本堂が建てられた頃、幼少の松尾芭蕉が、「長福寺」に小僧修行に行っていたという伝説があり、さらに、後世の建造になりますが観音堂の裏手には芭蕉の墓碑があります。毎年11月12日には、その遺徳を偲び「しぐれ忌」が行われています。

ここから、少し東に進むと上柘植を支配した国人（豪族）である福地氏の福地城跡（県史跡）が残っています。現在では、芭蕉公園として整備され、様々な句碑が建てられています。

（※）伽藍・・・僧侶が集まり修行する清浄な場所であり、後には寺院の建築物を意味する言葉となった。

議会を傍聴してみませんか

議会の会議は、どなたでも傍聴できます。市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ、傍聴してください。

- 聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の2日前（土日祝除く）までに市議会事務局にお申し出ください。（対象となる会議…一般質問）
- 議場傍聴席に「ヒアリングループ（磁気誘導ループ）」を設置しています。

本会議等の模様は、午前10時からケーブルテレビで生中継（再放送は午後7時から）しています。

また、本会議等は市議会議場又は、第1委員会室で開催します。

会議の内容を閲覧できます

市議会本会議等の会議録は伊賀市ホームページや議会図書室（冊子）でご覧いただけます。

平成29年9月定例会の会議録は11月30日以降となります。なお、会議録が出来上がるまでの間はホームページで音声をお聴きいただけます。

また、録画映像も配信しています。

編集 後記

「地域の魅力発見」今回はいがまちの魅力を探りました。躍動感あふれる都美恵太鼓は世代を超えて継承され、萬壽寺は芭蕉さんの故郷として多くの人に親しまれています。

また、14ページで広報委員会の所管事務調査報告をさせていただきます。この調査を活かして、より充実した議会だよりをお届けできるよう努力してまいります。（山下）

平成29年12月定例会の日程（予定）

11月30日（木）	本会議（開会）
12月 7日（木）	本会議（一般質問）
8日（金）	本会議（一般質問）
11日（月）	本会議（一般質問）
12日（火）	本会議（一般質問）
13日（水）	予算常任委員会
14日（木）	予算を除く常任委員会
15日（金）	予算を除く常任委員会
21日（木）	本会議（閉会）

※本会議と予算常任委員会は10時から始まります。

その他の各常任委員会は、開会日に決定します。

※定例会の日程は、変更になる場合があります。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501 伊賀市議会事務局「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687 ホームページ

FAX 0595-24-7901 <http://www.city.iga.lg.jp>

E-mail gikai@city.iga.lg.jp 伊賀市議会QRコード▶



※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸出ししています。希望される場合は、上記までお問い合わせください。

つみえ
都美恵
だいこ
太鼓

柘植地区で古くからあった雨乞いの神事「カッコ踊り」を郷土芸能として復活させるため、平成6年に伊勢市において開催された「まつり博三重」への出演を契機に伝統を受け継ぎ新たな創作太鼓としてスタートしました。

地域の魅力発見 第2弾

市議会広報委員がおじゃまします！

市議会だよりを身近に感じていただきたいという思いから、市民の皆さんが登場するコーナーとしてはじめてインタビュー。今回はいがまちを取材させていただきました。

いがまち
編

— 都美恵太鼓のメンバーを紹介してください。



都美恵太鼓会長
やぶもと はな
敷本 華さん



5歳から60歳代までの30人で活動しています。そのうち21人が子どもたちです。毎週金曜日の夜と月に2回土曜日に柘植公民館で練習しています。子どもたちの笑顔と元気が都美恵太鼓の魅力です。

— イベントに出演する機会も多いそうですね。



1年間に15～20回、市内の祭などを中心に出演しています。昨年は三重県内の和太鼓団体でつくる「伊勢志摩サミット盛り上げ隊」として、県内各地で公演を行いました。公演では県内の知らない和太鼓チームとの交流があり、子どもたちにとっても良い経験になります。



金野公園つつじ祭で演奏

— 練習や技術の習得などの他に心がけていることはありますか。



子どもたちの自主性を育むことや礼儀作法です。普段から挨拶はとくに大事にしています。公演先でも、会える人みんなに挨拶をする様に、リーダーが子どもたちをまとめてくれます。

楽しい！
ずっと太鼓続けます！

太鼓の高さは3mあって
最初はこわかったです(^^)

長さは1mくらい
あります



— 結成から23年になりますが、次世代へのバトンタッチについてはどう考えていますか。



子どもたちに、楽しい！太鼓大好き！と思ってもらうことが重要だと思います。私自身、創立時は小学4年生でした。父と一緒に始めて、途中抜けていた時期もありましたが、地元に戻ってきたので、当時1歳だった娘と一緒にまた始めました。自然に太鼓に興味を持ち、家で段ボール箱をたたいたりして遊んでいた娘も現在小学3年生になり、私の母と一緒に続けています。また、伝統的な曲や難しい曲だけではなく、子どもたちが楽しく学べるような曲を作ってもらい、地域の小中学校の文化祭などでも演奏しています。都美恵太鼓の子どもたちが笑顔で演奏し、それを見ている子どもたちも興味を持っていただいて、演奏する側に繋がってほしいなと思っています。

— 今後の目標は何ですか。



伝統芸能を大事にしながら、新しいことにも挑戦し、伊賀を代表するチームになりたいです。また、地域の活性化の一助になればと考えています。

チャップアという
楽器です

ダンスも
あります！



踏ん張れるように
冬でも裸足です(笑)

— 太鼓をはじめたきっかけは？

岡島くん 最初は兄の練習を見ているだけでしたが、それがきっかけで保育所の年少の頃からずっと太鼓を演奏しています。飽きることもありましたが、今は楽しく続けています。

— つみえっこ（子どもチーム）リーダーの仕事は何ですか。

秋山くん 太鼓の準備や、練習前の準備体操などを率先して行い、みんなをまとめます。始めたばかりの子には太鼓の基本を教えます。

— 太鼓の魅力は何ですか。

岡島くん 公演などでプロの人と一緒に演奏できることです。

秋山くん 毎週みんな太鼓をたたくのが楽しいです。みんなの音がそろった時は「やった！」と思います。これからもずっと都美恵太鼓を続けたいです。



つみえっこ 総監督
おかしま つよし
岡島 毅くん
(柘植中3年)



つみえっこ リーダー
あきやま ゆうき
秋山優貴くん
(柘植中2年)

<インタビューを終えて>

「勇み」、「つみえっこ」の演奏を聴かせていただきました。全員が笑顔で、「そーれっ」の掛け声も勇ましく、力強く響く太鼓の音は素晴らしかったです。

都美恵太鼓ではメンバーを大募集しています。興味のある方はぜひ練習をのぞいてみてください。